

# 福島県産農畜産物の風評被害の実情と 本会の取組みについて

---

平成29年4月21日

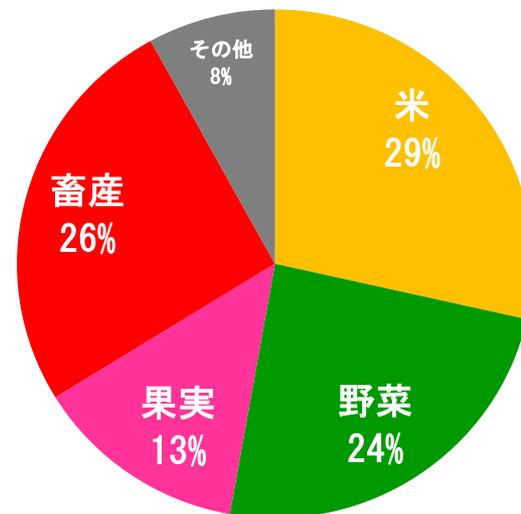
全農

# はじめに

## 福島県の全国における位置

区分	福島	全国	シェア	順位
面積(Km <sup>2</sup> )	13,784	377,971	3.6%	3
総人口(千人)	1,914	127,110	1.5%	21
総農家数(戸)	75,338	2,155,082	3.5%	5
主業農家数(戸)	9,026	293,928	3.1%	9
耕地面積(ha)	144,000	4,496,000	3.2%	7
農業産出額(億円)	1,973	88,631	2.2%	18

農業産出額構成比



注1) 福島県「福島県農林水産業の現状」および農林水産省「統計情報」より  
注2) 平成27年の実績

## 水稻



- 収穫量 356,300トン  
(全国 8,042,000トン)
- 順位 7位
- 全国シェア 4.4%

## 黒毛和種



- 飼養頭数 37,700頭  
(全国 1,594,000頭)
- 順位 12位
- 全国シェア 2.4%

## 豚



- 飼養頭数 123,500頭  
(全国 9,313,000頭)
- 順位 20位
- 全国シェア 1.3%

## 生乳



- 生産量 73,925トン  
(全国 7,379,234トン)
- 順位 18位
- 全国シェア 1.0%

注1) 農林水産省「統計情報」より

注2) 水稻は28年産、黒毛和種・豚は平成28年2月調査、生乳は平成27年産の実績

## もも



- 収穫量 29,300トン  
(全国 127,300トン)
- 順位 2位
- 全国シェア 23.0%

## なし



- 収穫量 19,400トン  
(全国 247,100トン)
- 順位 4位
- 全国シェア 7.9%

## りんご



- 収穫量 26,300トン  
(全国 811,500トン)
- 順位 5位
- 全国シェア 3.2%

## 干し柿



- 生産量 543トン  
(全国 6,318トン)
- 順位 3位
- 全国シェア 8.6%

注1) 農林水産省「統計情報」より

注2) もも・なしは平成28年産、りんごは平成27年産、干し柿は平成26年産の実績

## きゅうり



- 収穫量 41,300トン  
(全国 549,900トン)
- 順位 3位
- 全国シェア 7.5%

## さやいんげん



- 収穫量 3,820トン  
(全国 40,300トン)
- 順位 2位
- 全国シェア 9.5%

## トマト



- 収穫量 24,600トン  
(全国 72,700トン)
- 順位 8位
- 全国シェア 3.3%

## アスパラガス



- 収穫量 1,630トン  
(全国 29,100トン)
- 順位 7位
- 全国シェア 5.6%

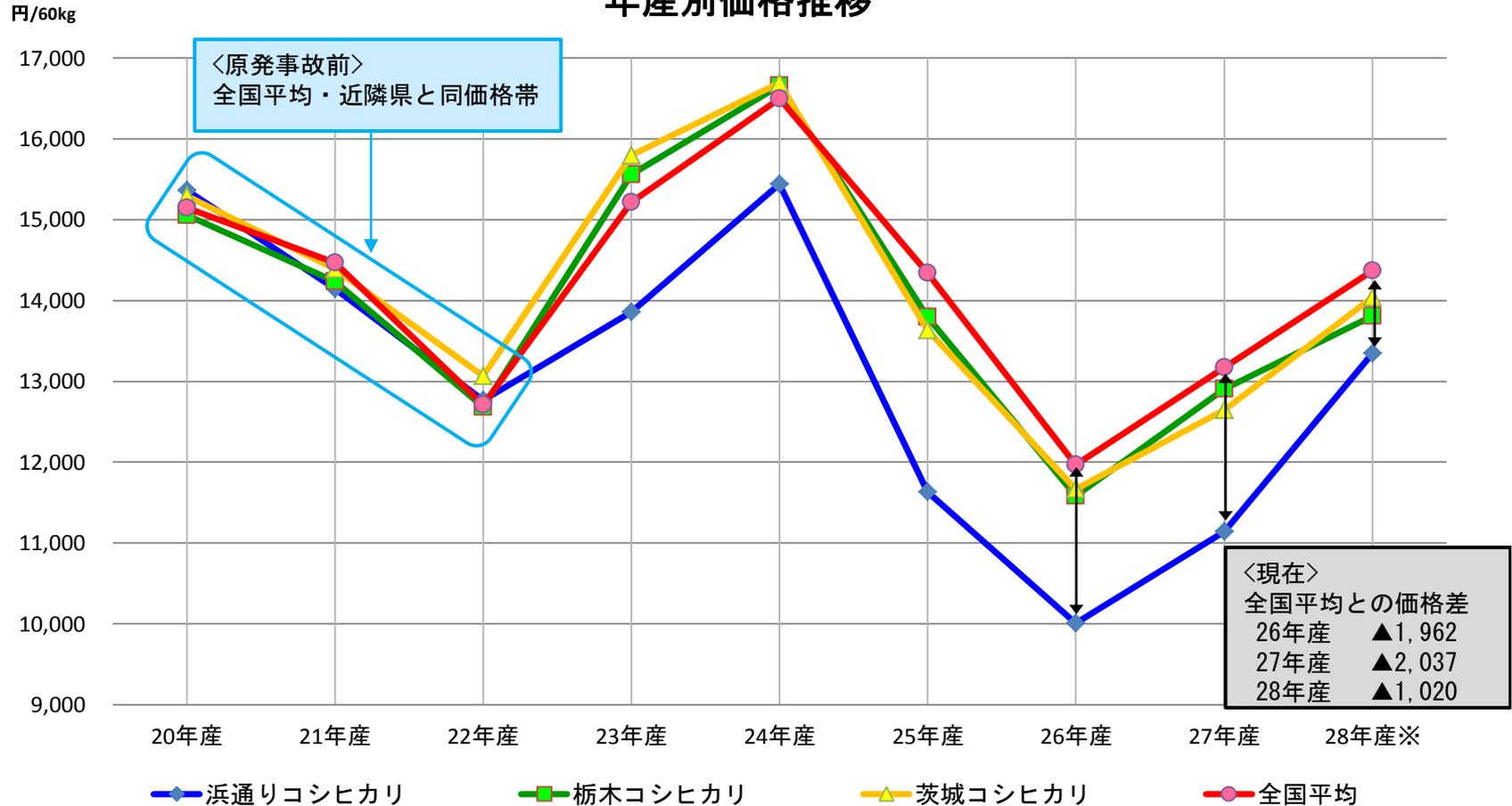
注1) 農林水産省「統計情報」より  
注2) 平成27年産の実績

# 福島県産農畜産物を巡る情勢



## 米 穀

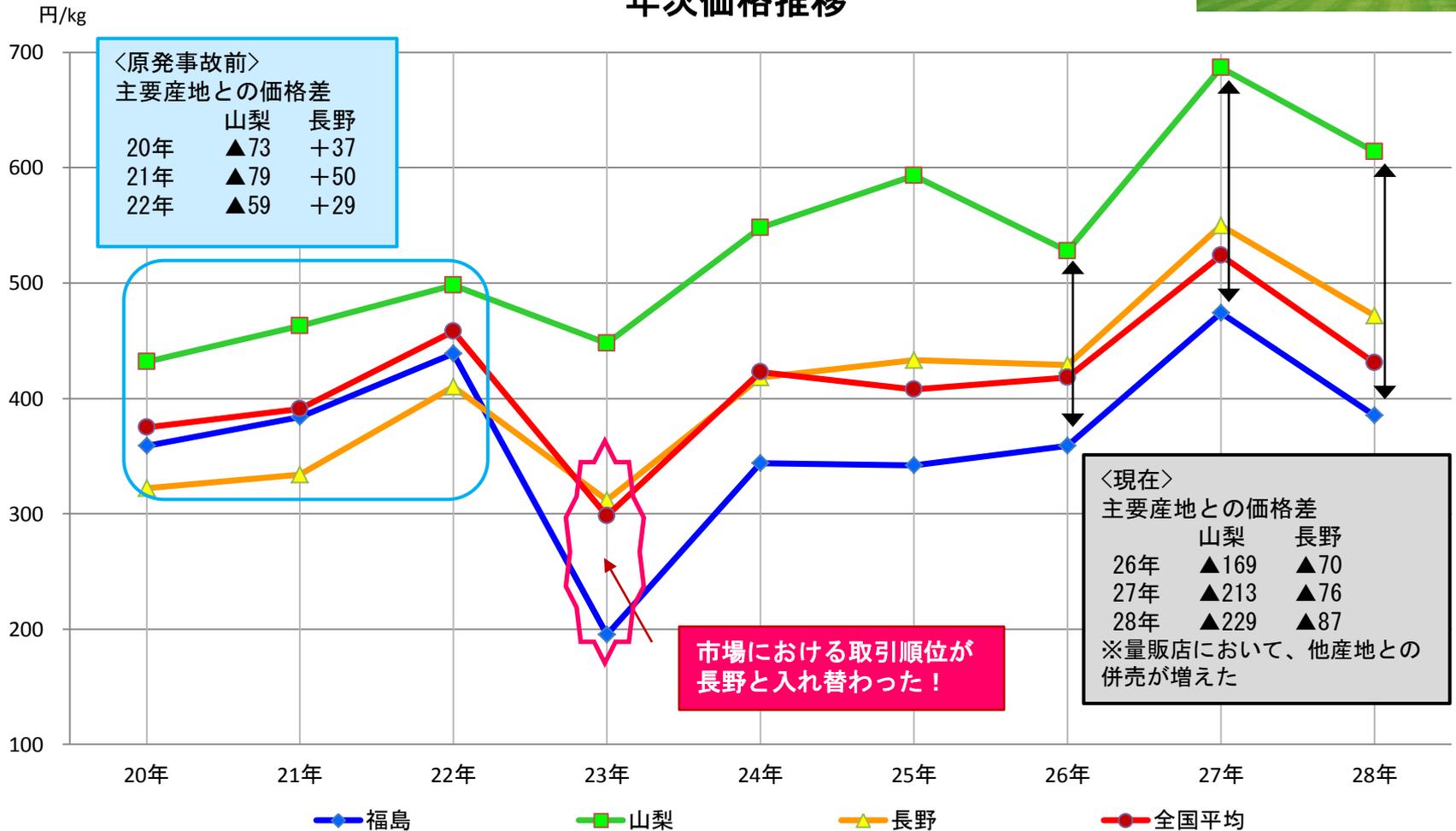
### 年産別価格推移



注1) 農林水産省「米の相対取引価格」より  
 注2) 玄米・1等・円/60kg (消費税等含む)  
 注3) 28年産は平成29年1月の単月価格



## 年次価格推移

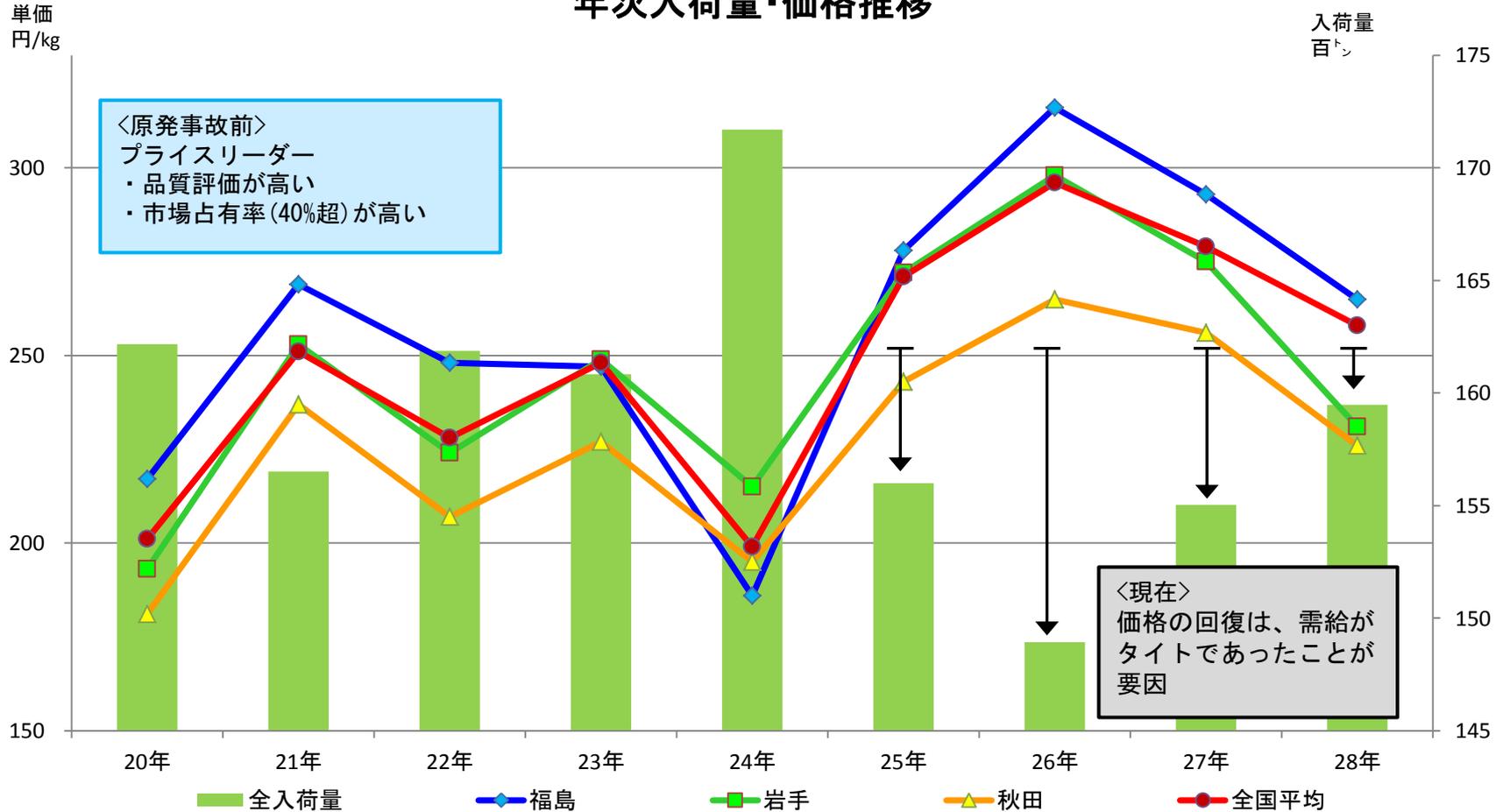


注) 東京都中央卸売市場「市場統計情報 (8月実績)」より

# きゅうり

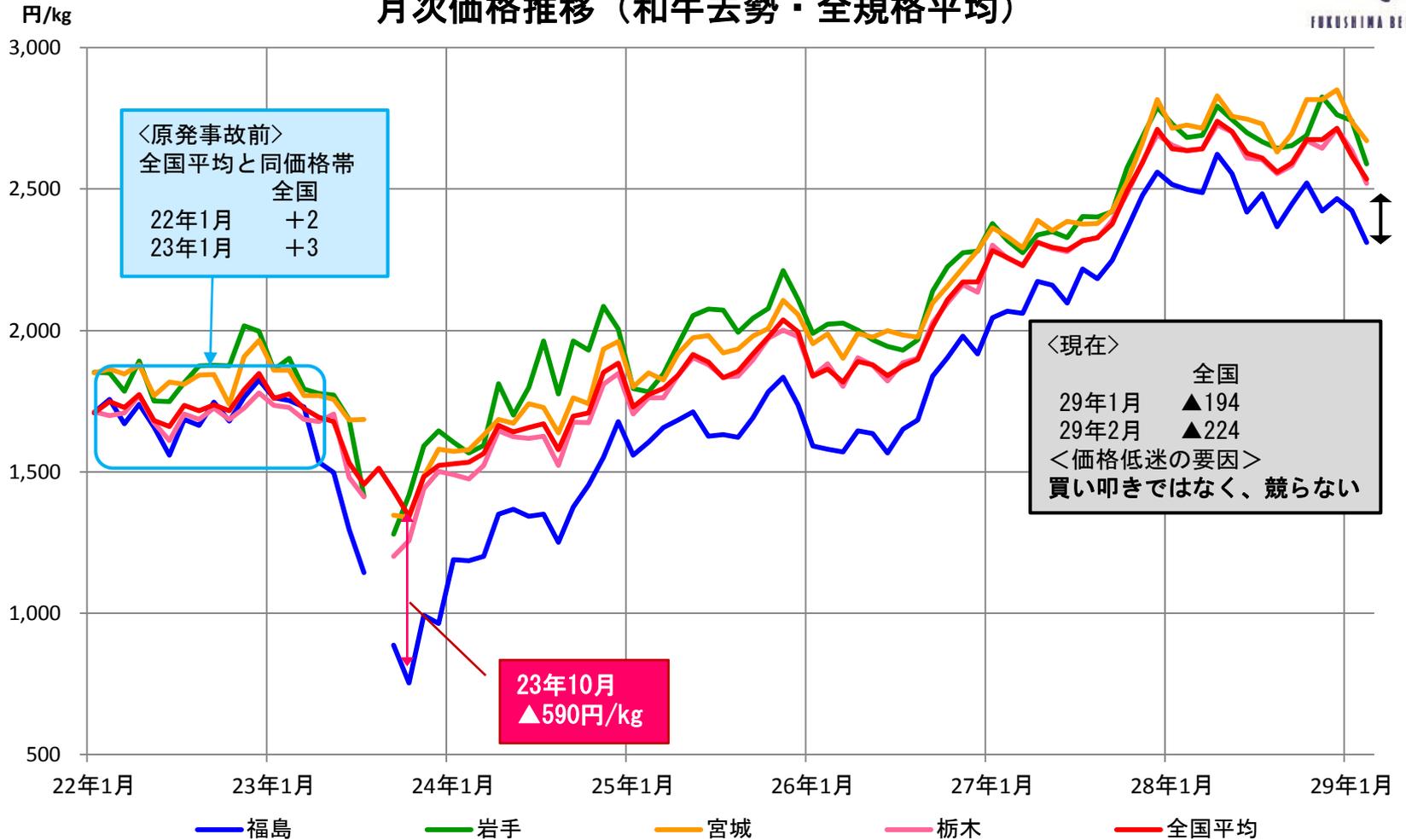


## 年次入荷量・価格推移



注) 東京都中央卸売市場「市場統計情報(7-8月実績)」より

月次価格推移（和牛去勢・全規格平均）



注1) 東京都中央卸売市場「市場統計情報」より  
注2) 平成23年8月の取引実績なし（福島、岩手、宮城、栃木）

# これまで行なってきた主な取組み

## 流通対策（流通業界向け）

＜ 事故から2、3年 — 福島県で実施している安全性確保の取組みを説明する活動が中心 ＞

### ふくしま米産地視察説明会

開催：24年9月、25年9月

場所：福島県内

対象：卸売業者、バイヤー、小売店（延べ参加者数 約300名）

内容：米の全量全袋検査の現場視察



### 青果物安全・安心な取組み説明会

開催：24年4月、6月、25年4月、6月

場所：札幌市、東京都、大阪府、福島県

対象：市場、仲卸、バイヤー（延べ参加者数 約1,250名）

内容：放射性物質検査の取組み



### 菌床しいたけに関する説明会

開催：25年8月

場所：東京都、福島県

対象：市場関係者（延べ約200名）

内容：放射性物質吸収抑制対策実証試験の説明



### あんぽ柿出荷に関する説明会

開催：25年9～12月、26年1月、9月、11月

場所：北海道、東京都、大阪府、福島県

対象：市場、仲卸、バイヤー

内容：加工再開に向けた産地の取組みを説明



## 流通対策（流通業界向け）

< 直近の取組み — 福島県産農畜産物の魅力発信に軸足を置いた活動が中心 >

### 福島県産農畜産物の集い

開催：28年10月  
場所：東京都内  
対象：卸売業者、市場会社、バイヤー（参加者数 20名）  
内容：福島県産農畜産物の安全性確保対策や特徴を説明



### ふくしまの米求評懇談会

開催：26年10月、27年10月、28年10月  
場所：東京都内  
対象：卸売業者（28年度主要取引先 15社）  
内容：福島県産米の取扱方針説明



### 福島県産米業務店販促キャンペーン

開催：28年10月～11月  
場所：県内一円（業務用向け）  
対象：県内ホテル・旅館・飲食店等  
内容：ホテル・旅館等における県産米利用拡大を目的とした販売促進



### 食の商談会（ふくしまフードフェア）

開催：26年9月、27年11月、28年10月  
場所：福島県内  
対象：製造業者、バイヤー等（28年度来場者数 約1,200名）  
内容：県産農林水産物及び地域産業6次化商品等の販路開拓、生産者と実需者の交流の場づくり



## 消費宣伝（消費者向け）

### バーベキューフェスティバルin裏磐梯

開催：25年7月、26年8月、27年8月  
場所：福島県内  
対象：消費者（延べ参加者数 約3,000名）  
内容：県産牛肉と野菜を使ったバーベキュー



### 今が旬の桃と夏野菜ビックプレゼント

開催：28年7-8月  
場所：阪神地区  
内容：福島県産ももを購入されたお客様限定のゲーム大会



### コープふくしまJA全農フェア

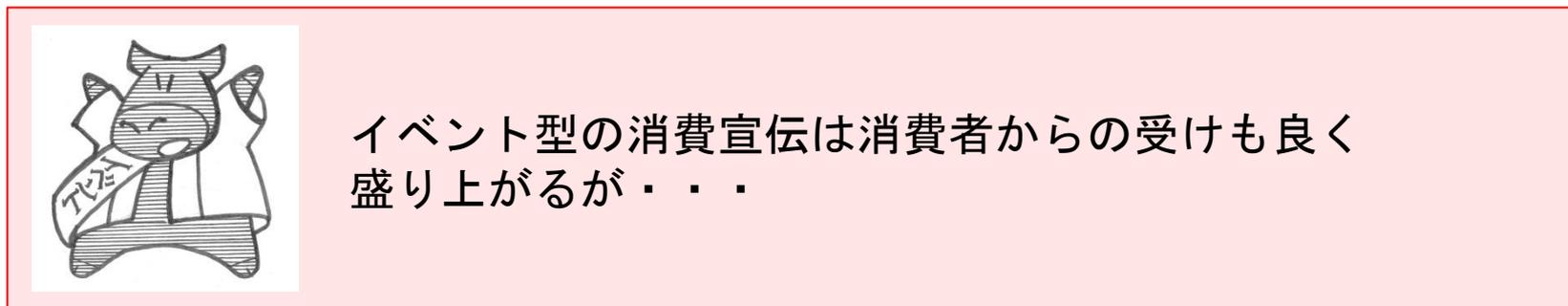
開催：28年10月  
場所：コープふくしま各店舗  
内容：地産地消の取組み強化、県産食材を使った豚汁の配布



### 28年度活動実績より抜粋 ※協力含む

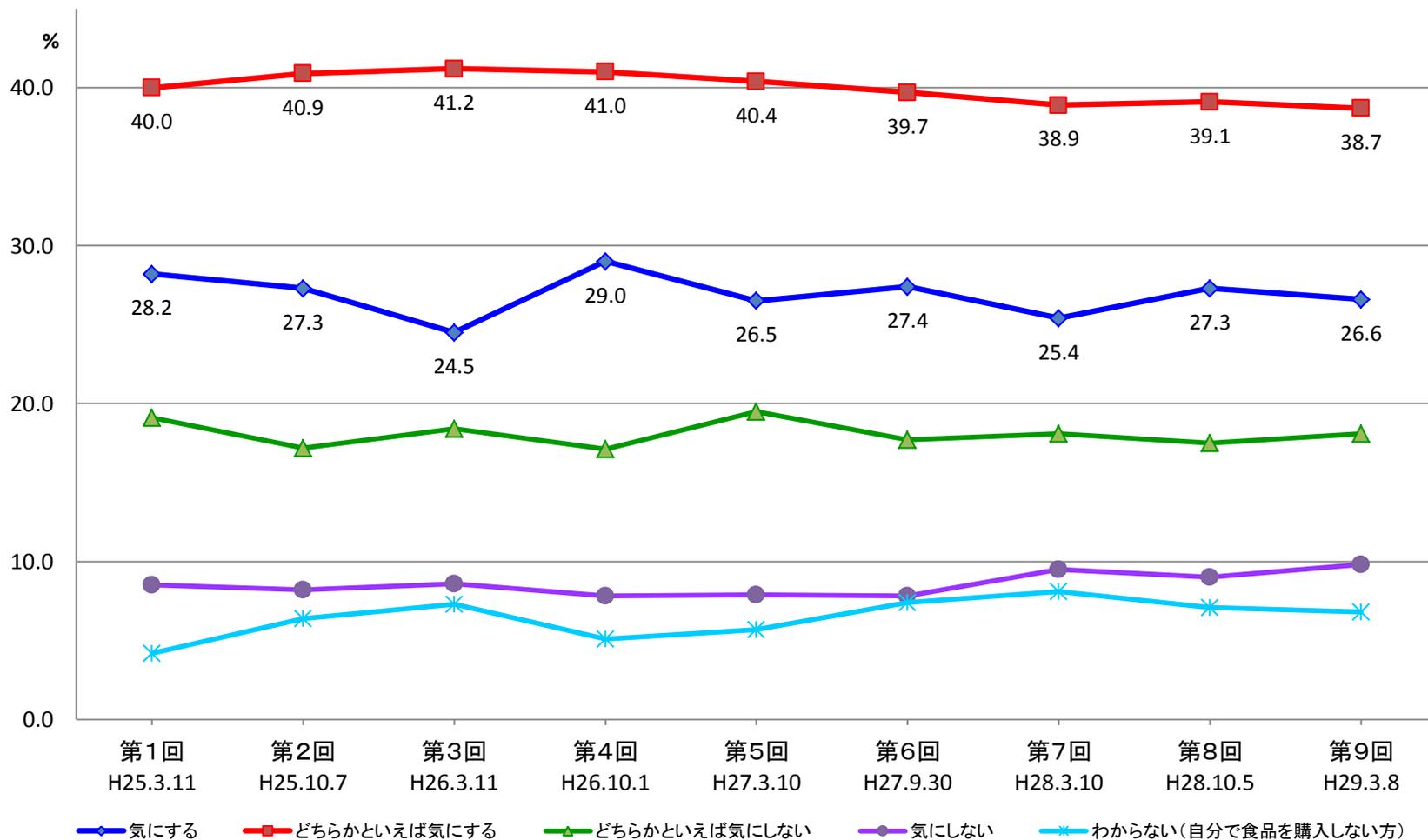
- 4/ 3 福島ユナイテッドFC開幕ゲーム来場者プレゼント /福島市
- 4/22 福興◎福島！！大森弾丸ツアー2017 /東京都大田区
- 5/21 親子で楽しく田植え体験「いなげや田植え体験ツアー」 /福島県大玉村
- 6/24 日本橋福島館「ミデッテ」販促 /東京都
- 7/11 福島県くだもの消費拡大 /福島市（公設地方卸売市場）
- 7/26 キュウリビズキャンペーン /東京都（大田市場）
- 8/5-6 東京メトロ「福島産直市」 /東京都（東京メトロ銀座駅）
- 8/5-11 くまのがっこう×JA全農福島コラボ /東京都内
- 8/19 日本橋「ゆかり」野永三代目の和食塾 /東京都（JAビル）
- 8/26 農業・農村ギャラリー「つもごり市」 /東京都（JAビル）
- 9/24-25 フジシティオの稲刈り体験ツアー /福島県会津美里町
- 10/16 スイーツマラソン /郡山市

# 本会が認識している問題

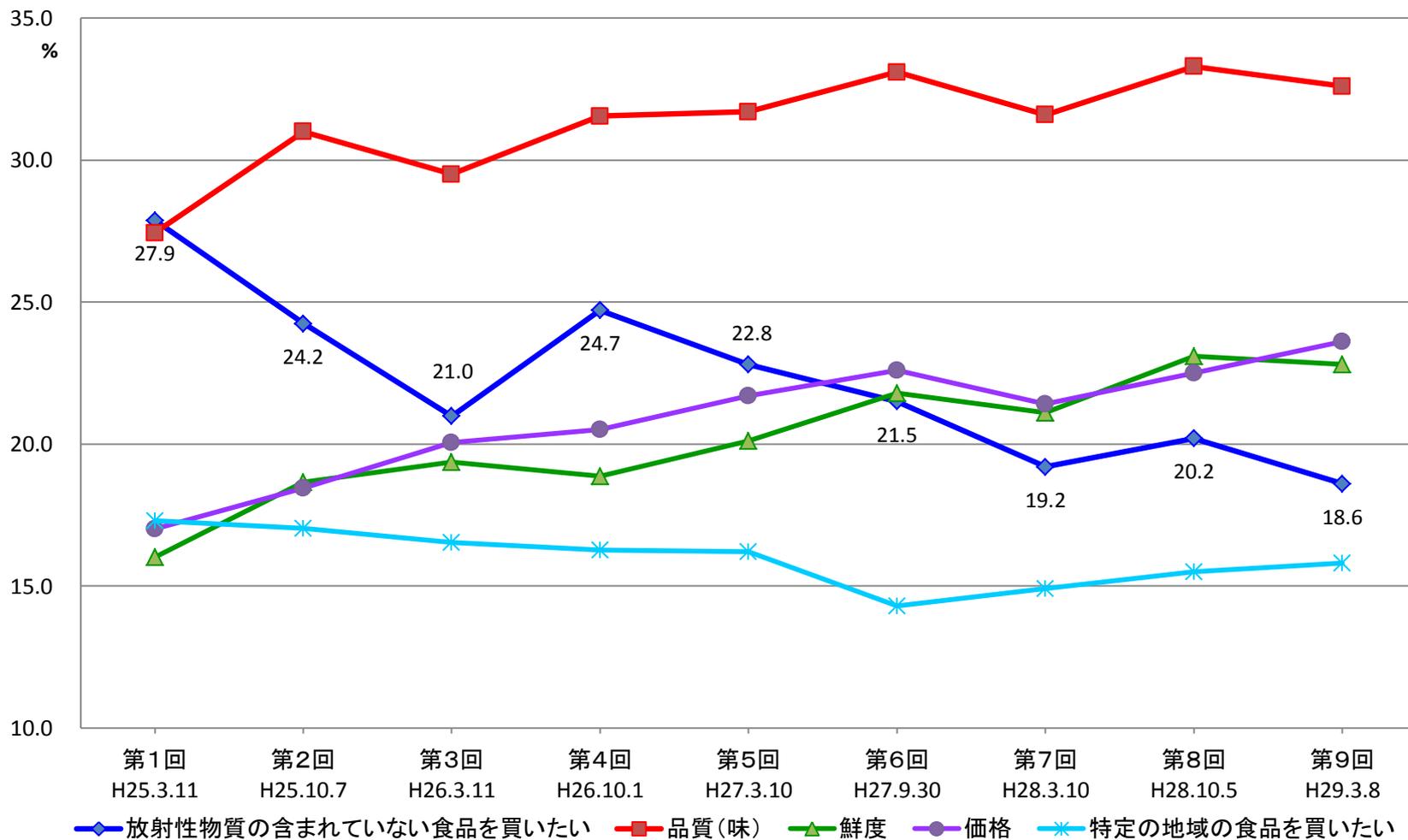


# 風評被害に関する消費者意識の実態調査について (消費者庁)

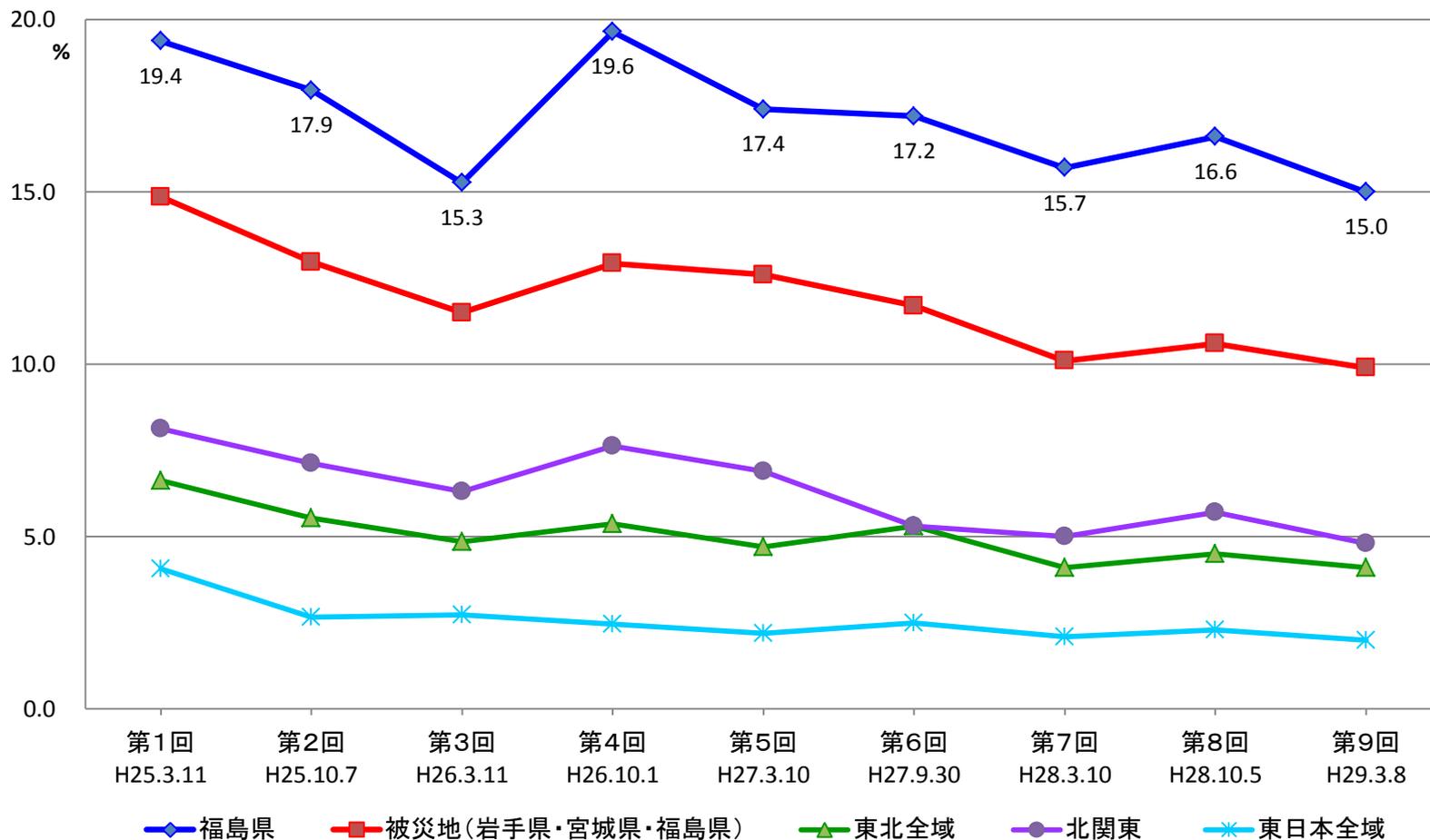
あなたは、普段の買い物で食品を購入する際に、その食品がどこで生産されたかを気にされますか。  
(回答は1つ)



普段の買い物で食品の生産地を「気にする」又は「どちらかといえば気にする」と回答された方にお聞きします。あなたが、その食品がどこで生産されたかを気にされるのは、どのような理由からでしょうか。  
(回答はいくつでも)



普段の買い物で食品の生産地を気にする理由として、「放射性物質の含まれていない食品を買いたいから」と回答された方にお聞きします。あなたが、食品を買うことをためらう産地を次の中から選んでください。  
(回答はいくつでも)



# おわりに

「安全性の発信」から『おいしい』への転換。そして、次の展開へ...

## 売り場における対面型消費宣伝（マネキンの配置）

- ① 消費者の日常生活に密着した宣伝活動 ⇒ 継続的な購入
- ② 試食を通じて魅力を伝える ⇒ おいしさを訴求
- ③ 量販店が陳列するきっかけ作り ⇒ 売り場の通年確保



## 信頼され続ける産地であるためのチャレンジ

### GAPの普及に向けた支援

＜GAP(農業生産工程管理)とは？＞

農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと  
⇒消費者や実需者の信頼の確保

＜具体策＞

JGAPの推進

全職員による『JGAP指導員』の資格取得

